

その他の環境対策事業 1億461万1千円

地球温暖化対策

再生可能エネルギーの導入補助やPR

住宅用太陽光発電システムや木質ペレットストーブ等の導入費用を補助したほか、次世代エネルギーパークで情報発信しました。

省エネ対策や光熱費削減に向けた取組

情報統合管理基盤を用いた効率的な施設運用を行ったほか、ESCO事業の実施により、省エネルギー化を進め、光熱費を削減しました。

環境配慮行動や温室効果ガス削減を促す事業を実施

環境配慮行動を促すアプリを運用したほか、緑のカーテン写真コンテスト等を実施しました。



照明LED化の推進

雄和観光交流館イベントホール、拠点センターアルヴェ公共棟、秋田城跡歴史資料館、大森山公園キャンプ場照明のLED化を推進しました。



公用車の低公害車への更新

公用車について、環境負荷の少ない電気自動車等の次世代低公害車化への費用の一部に充当しました。

生活環境の保全

微小粒子状物質（PM2.5）の成分分析業務を委託したほか、水銀含有ごみを処理しました。



秋田市地域振興基金

現在高 1億449万7千円

手数料相当額の収入額（歳入）と事業費決算額（歳出）の差額を秋田市地域振興基金に積立て、後年度の環境対策事業に充当することとしています。令和元年度は8,473万4千円を取崩し、右記の事業に充当しました。なお、令和元年度決算では差額がないため、来年度の積立額はありません。

平成30年度末 現在高	令和元年度		令和元年度末 現在高
	積立額	取崩額	
1億7,393万3千円	1,529万8千円	8,473万4千円	1億449万7千円

平成30年度決算後の積立額

地域振興基金を充当した事業 8,473万4千円

後年度の事業で活用するために地域振興基金に積立てていた額の一部を、環境対策事業等に充当しました。

照明LED化の推進

千秋美術館内の照明灯、防犯灯、道路照明灯、地下道の照明灯のLED化を推進しました。

中小企業者等の省エネ促進

中小企業者等の省エネ設備導入にかかる対策費の一部を補助しました。

緑地や森林の整備

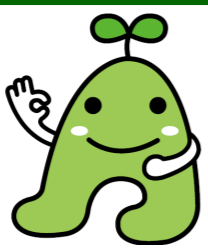
公園緑地を再整備したほか、森林のCO₂吸収効果を高める間伐費用等を補助しました。

公用車の低公害車への更新

道路パトロール等に使用している公用車の低公害車化への費用の一部に充当しました。

事業の詳細についてお問い合わせは

秋田市環境部環境都市推進課計画担当
〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号
TEL 018-888-5706 FAX 018-888-5707
E-mail ro-evcp@city.akita.lg.jp

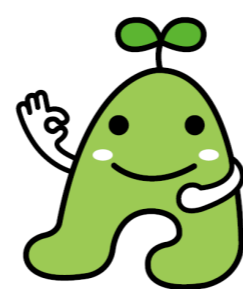


秋田市 手数料相当額

1 検索
詳細や前年度分等は
HPで確認できます

令和2年12月作成

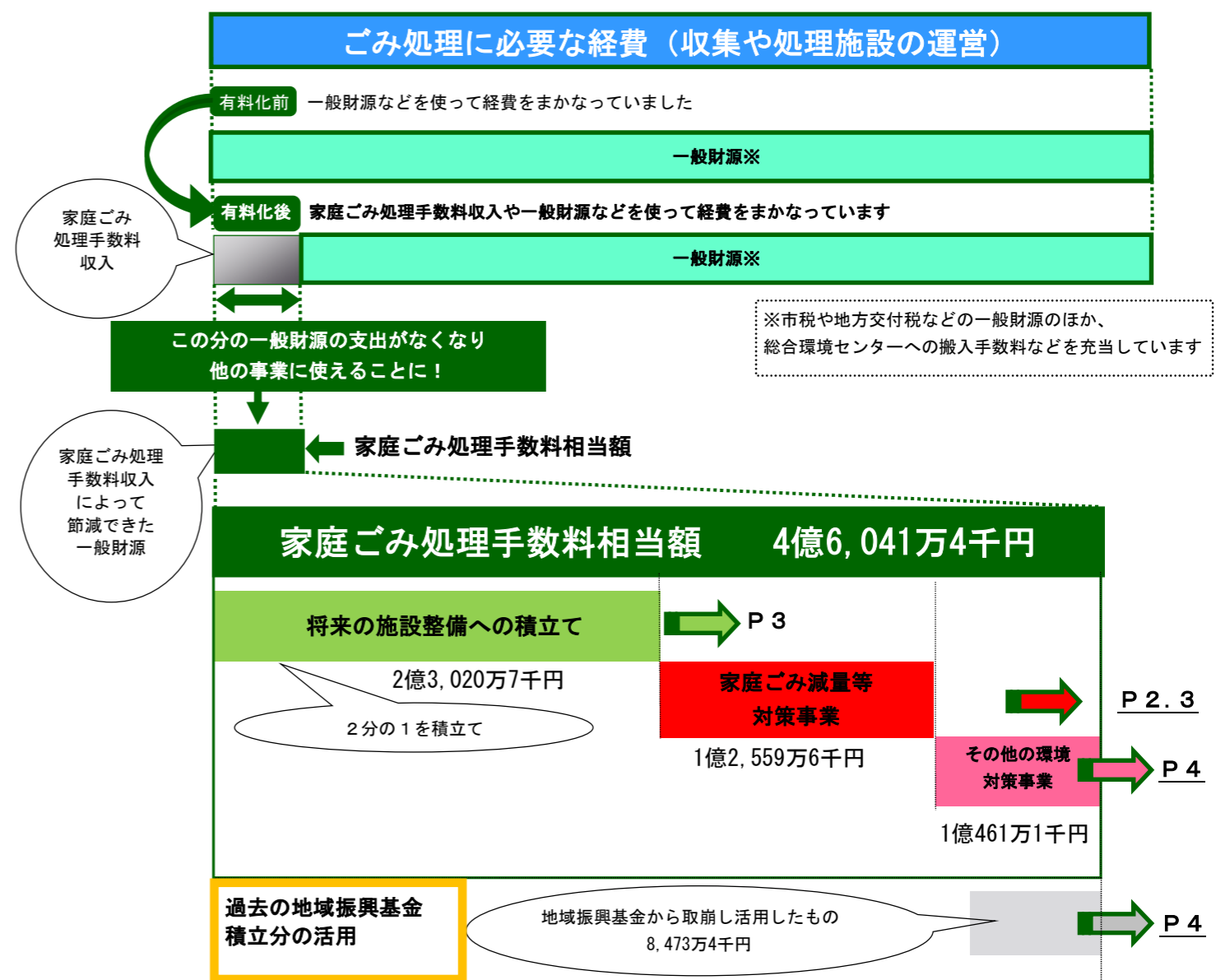
家庭ごみ処理手数料相当額の使いみちをお知らせします



秋田市ごみ減量キャラクター エコアちゃん

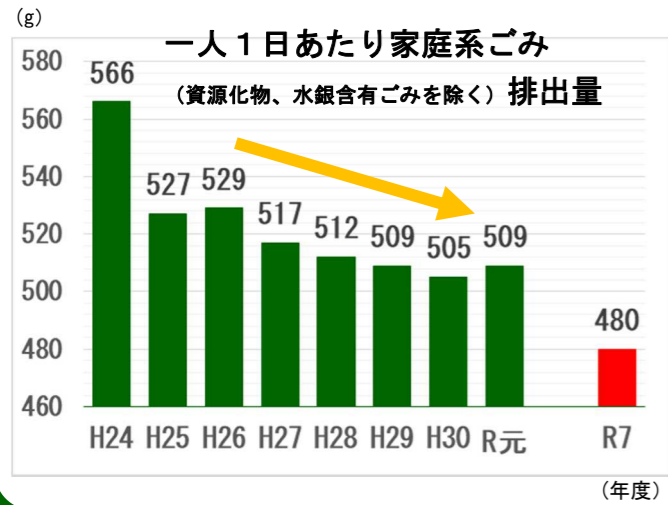
秋田市では、経済的動機付けによるごみ減量を進めるため、市民の皆様にご家庭ごみ用指定袋の容量1ℓにつき、1円の家庭ごみ処理手数料を負担していただいております。有料化制度開始（平成24年7月）の前年（平成23年）度は、一人1日あたりの家庭系ごみの排出量は584gでしたが、令和元年度は、509gまで削減されました。毎年度、負担していただいた財源（手数料）は、全額ごみ処理に必要な経費に充てていますが、その結果、節減することができた一般財源の相当額は、将来の施設整備の積立てや、さらなるごみの減量、その他環境対策に資する事業の財源に充てており、その決算額を毎年公表しています。次の世代の負担を減らし、私たちの美しい環境を未来へ引き継ぐため、今後ともごみ減量にご協力をお願いいたします。

手数料相当額とは？



家庭ごみ減量等対策事業 1億2,559万6千円

減量目標



ごみ集積所の美化



各町内会等で管理しているごみ集積所について、負担軽減のため、設置や修繕にかかる費用を補助しました。

※集積所の設置や修繕、簡易折りたたみ型や被せネットの購入等が補助の対象

補助件数140件

ごみ減量の情報発信

ごみ減量コラムの掲載

広報あきたへの特集記事掲載に加え、無料配布の情報誌にイラスト入りコラムを掲載しました。



αクラス7月1日号掲載記事

「ごみの分け方・出し方手引き」を増刷

分別方法の手引きを増刷し、分別を周知しました。



6,000部
A4版
28頁

ごみ減量の啓発

- マイバッグ等の配布
オリジナルマイバッグや水切りネット等を配布し、ごみ減量を呼びかけました。
- 雑がみ分別袋の製作・配布
底面がA4サイズで自立します。
20,000枚製作



- レジ袋の削減PR
- 古着回収の実施

古着のリユースを目的に回収事業を実施しました。

38t回収

- 事業系ごみ減量の啓発

「ごみ減量アクション」を開催

講座やパネル展示などにより食品ロスやプラスチック削減などのごみ減量の情報を発信する「ごみ減量アクション」を開催しました。

4回開催



不適正排出の抑止

不適正に排出されるごみを抑止するため、集積所の巡回パトロールおよび啓発活動を実施しました。

不適正排出件数

5,921件 (H25 23,077件)

不適正排出を警告するシール



不法投棄の防止

職員、委託業者および不法投棄監視員によるパトロール、監視カメラの活用ならびに不法投棄ゼロ宣言事業の実施などにより、不法投棄の防止に努めました。

発生件数

53件
(H24 116件)



家庭ごみ処理手数料の収納等

家庭ごみ有料化による手数料を収納し、小売登録事業者に徴収事務委託料を支払いました。また指定袋の規格検査を実施しました。



生ごみ減量の促進

生ごみ堆肥化容器・電気式生ごみ処理機

購入費補助や生ごみ堆肥づくり講座の開催

■生ごみの減量・リサイクルに取り組む意欲のある希望者に屋外型の堆肥化容器の購入費を補助(費用の1/2)しました。

■令和元年度から、庭などの敷地がない家庭でも減量できるように電気式生ごみ処理機の購入費の補助(費用の1/2)を開始しました。

補助件数

コンポスター 66基

【新】電気式生ごみ処理機 29件

■コンポスターを活用した生ごみ堆肥づくり講座を開催しました。



「オールあきた水切り月間」での啓発

生ごみの増える8月に「生ごみの水切り」を集中的にPRしました。



食品ロスの削減

- 使いきりレシピ集の作成や食品ロス削減啓発パンフレットの増刷・配布
- 「もったいないアクション」の推進



食べ物を大切にせずおいしく食べきることを啓発しました。



協力店舗95店 (R2年3月末現在)

- 食品ロス実態調査



食品ロスを減らす効果的な施策を検討するため、家庭ごみに含まれる食品ロスの実態把握調査を実施しました。

令和元年8月調査時 食品ロス

家庭から排出される家庭ごみの内、生ごみ約46%
食品ロスは約15%

集団回収の普及促進

ごみの減量や資源のリサイクルを図るとともに、市民が共に資源の回収に取り組むことを推進するため、集団回収を行った団体等に奨励金を交付しました。

回収実績 3,268トン
(実施団体 591団体)

資源化物の祝日収集

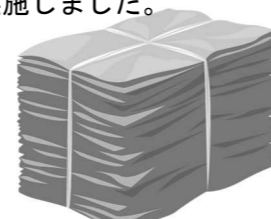
資源化物の排出利便性を高めるため、祝日に収集日があたる場合についても収集を行いました。



古紙回収の促進・支援

家庭から出る古紙について、回収業者、受入業者および古紙問屋との間で締結した協定に基づき、ステーション回収を実施しました。

回収実績 6,046トン



将来の施設整備への積立て 2億3,020万7千円



秋田市総合環境センター(熔融施設)

【平成14年3月竣工】

【平成24年3月増強工事】

家庭ごみ処理手数料相当額(4億6,041万4千円)の2分の1である(2億3,020万7千円)について、将来世代の負担を軽減するため、一般廃棄物処理施設整備基金に積み立てました。

令和元年度末 一般廃棄物処理施設整備基金

現在高 13億439万2千円

平成30年度末 現在高	令和元年度		令和元年度末 現在高
	積立額	取崩額	
12億7,388万4千円	2億3,073万8千円	2億23万円	13億439万2千円

令和元年度は2億23万円を取崩し、最終処分場排水処理施設改修事業などの事業費の一部に充当しました。

※上記表の積立額には基金運用益53万1千円が含まれます。